

2024年6月4日 第494号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「the END 自民党政治」行動に100人

裏金問題の徹底説明、企業・団体献金を禁止させよう！

総がかり行動実行委員会は6月4日昼、「the END 自民党政治 企業・団体献金禁止はゆずれない！自公は市民の声を聞け！緊急国会議員会館前行動」を行い100人が参加しました。4日に衆議院政治改革特別委員会で政治資金規正改定案の採決強行が狙われていましたが、問題だらけの改定案に対し国民の怒りが広がったため、採決を阻止することができました。しかし5日には採決が強行される見通しです。裏金問題の徹底説明、企業・団体献金禁止を求める世論を大きくしていくことが重要になっています。社民党の新垣邦男衆議院議員、日本共産党の穀田恵二衆議院議員、立憲民主党の逢坂誠二衆議院議員があいさつしました。

憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんが主催者あいさつ。「今日の委員会採決は明日にずれ込んだが、政治資金の透明性に問題がある。自民党の裏金問題についての全容説明がされていない。企業・団体献金の禁止、領収証の全面公開、連座制の3点で、立憲野党や維新が合意していたことはどこへいったのか。参議院でのたたかいに奮闘しよう。市民の意見を聞かない岸田政権にもう政治は任せられない。裏金議員に憲法に手を付けさせず、改憲を阻止するため奮闘しよう」と呼びかけました。



憲法共同センターから、憲法会議の高橋信一事務局長が発言。「自民党の稲田朋美衆議院議員が自ら代表を務める党支部に寄付し、所得税の一部を控除される税優遇を受けていたと報道がされた。寄付の原資に安倍派からキックバックされた資金を使った可能性については否定しているというのが実態の解明が求められている。同じ穴のムジナ三兄弟は、本当に政治資金規正法を変えようという立場に立っていない。引き続きたたかいていこう」と呼びかけました。憲法審査会の動きについて「衆議院で3回、参議院で2回、開かれる可能性がある。改憲条文案を作成させないための取り組みとして、緊急事態条項の任期延長の問題点をもっと広く知らせていくことが重要だ。ともにがんばろう」と訴えました。

憲法共同センターの石川敏明全労連副議長が行動提起を行いました。